

つながり



「豆まきの力も借りて元気に」

校長 小林達也

早いもので、暦は2025年の2月になりました。本年度の学校生活も、あと2ヶ月を残すのみとなります。子ども達が実際に学校で生活するのは、残り34日（6年生は31日）です。1月は行く月、2月は逃げる月、3月は去ってしまう月という言葉もありますが、改めて残りの日数を聞きますとその短さが実感できます。子ども達にはこの残された日数を今まで以上に意識してもらい、1日1日を大切に過ごして、4月に一つ上の学年になった時に、よいスタートを切れるようしっかりと進級の準備をしてほしいと思います。

また、今年は2月3日（月）が立春となるため、その前日の2日（日）が節分となります。節分に豆まきをすると、健康になれる、幸せになれる、と言われていています。昔から日本では、豆は五穀（米、麦、アワ、ヒエ、豆）の象徴で、豆には神様が宿ると信じられてきたそうです。人々は、そのように大切な豆をまいて、自分の身の回りに悪いことが起きないようにと祈ったのでしょう。その習慣が、今でもなくなり残っている、人々が言い伝えていることに、なんだかうれしさを感じます。

豆まきの仕方は地方や家庭によってさまざまな風習がありますが、ここで一般的な例をご紹介します。まず、霊力が宿った「福豆」として、豆は豆まき開始までは神棚や家の中の高い場所などにお供えしておくといわれています。それから、豆まきの豆は、火が通ったものを用意するとよいそうで、まいた豆を拾い忘れて芽が出てしまうといった事態を避けるためだそうです。でも、お店で売っている豆は、ほとんどが炒り豆なので大丈夫だと思います。また、豆は夜にまくとよいそうで、それは鬼が夜に来ると考えられているためです。最後に、豆は奥の部屋からまいていくとよいそうで、窓やドアの外に向かって「鬼は外」とまいていきます。まいたらすぐ窓やドアを閉めて、鬼が戻らないようにし、室内に向かって「福は内」とまくのがよいそうです。ちなみに、自分の年齢と同じ数だけ豆を食べるとよいそうですが、「年齢+1」でもよいそうです。給食でも毎年、豆まきにちなんで袋入りの豆が出ます。子ども達には、豆まきについてのそんなお話（1月21日の朝会で子ども達に話しました）を思い出しながら、味わって豆を食べてほしいと思っています。

寒さが厳しいこの時期は、どうしても体調を崩しがちになります。日々の健康を維持できるように自分の健康管理をしっかりしながら、その上で豆まきの力も借りて、今月も子ども達が元気に過ごしてほしいと願っています。また、保護者の皆様、地域の皆様には、これまで同様、本校の教育活動にご理解ご協力をいただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

大谷選手から贈られたグローブ

大谷選手から贈られたグローブを職員室前に飾っています。子ども達はたくさん手に取って喜んでいます。ご来校の際はぜひ、ご覧ください。



2月の行事予定

日	曜	行 事
1	土	
2	日	
3	月	朝読書 クラブ(クラブ見学3年)
4	火	朝会 学校保健委員会
5	水	
6	木	朝読書 代表委員会 ベルマーク回収日
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	朝読書 委員会
11	火	建国記念の日
12	水	なかはらタイム16年
13	木	朝読書 なかはらタイム35年 図書ボラお話し会
14	金	なかはらタイム24年 巡回カウンセラー
15	土	
16	日	
17	月	朝読書 クラブ テストメール配信日
18	火	朝会 第3回施設開放委員会
19	水	
20	木	朝読書 第3回学校運営協議会
21	金	学校報告会・懇談会123年
22	土	
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	集会 学習発表会6年 学校報告会・懇談会456年
26	水	
27	木	6年生を送る会 学習発表会・懇談会学セ
28	金	

2月の校庭開放日

4日 6日 13日 18日 20日 27日